

新年を迎えて

理事長 塩田 康一



令和5年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、全国的にオミクロン株による新型コロナウイルス感染症の急拡大やウクライナ情勢の悪化に伴う原材料の高騰など、厳しい局面が続いた年となりました。会員の皆様におかれましても大変な御苦勞があったものと思料します。

そのような中、10月に開催されました全国和牛能力共進会鹿児島大会では、鹿児島黒牛が2大会連続で「和牛日本一」に輝き、県内に明るいニュースをもたらしてくれたところです。

当協会におきましては、本県特産品の品質向上や販路拡大を推進するため、県や関係団体等と連携しながら様々な取組を実施してまいりました。

物産展につきましては、全国の主要百貨店等において開催したほか、コロナ禍で中止となった催事が再開される動きも出てきております。

また、コロナ禍における販売機会の創出を目的に開設しましたECサイト「かごいろ」についてですが、昨年度より出店しましたYahoo!ショッピング店が好調であり、今年度の売上は前年同期を大きく上回っているところです。

特に鹿児島黒牛のPRキャンペーンや奄美世界自然遺産登録1周年を記念したキャンペーンを実施したところであり、大きな反響をいただきました。

海外においては、フランス・パリにおいて本県の認知度向上と現地バイヤー等との人的ネットワークを図るためトップセールスを実施し、県産品のPRを行ってまいりました。

鹿児島黒牛やお茶、鰹節、本格焼酎等の県産品の魅力をアピールしましたところ、具体的な商談が多く実施されるなど、今後の輸出拡大に向けて、手応えを感じたところです。

今年は、7月に国内最大規模の芸術文化の祭典・全国高等学校総合文化祭「2023かごしま総文」、10月に国内最大の国民スポーツの祭典「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催されます。

大会期間中は、全国から多くの来場者が予想され、豊富な特産品や観光といった鹿児島の魅力をアピールする絶好の機会でありますので、今後の販路拡大に繋がるよう、積極的なPRに努めてまいります。

本年も会員の皆様と一緒に、本県の豊かな地域資源を活用した特産品開発や国内外における販路拡大を図り、「稼ぐ力」の向上に取り組んでまいります。

今後とも皆様のより一層の御支援・御協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを祈念申し上げます。

東武百貨店船橋店「第22回鹿児島物産展」開催

【千葉県船橋市で鹿児島物産展を開催】

鹿児島県と当協会は、11月30日(水)～12月6日(火)の7日間、首都圏のベッドタウンである千葉県船橋市の東武百貨店船橋店6階イベントプラザ、4階イベントステージにおいて、「第22回鹿児島物産展」を開催しました。

今回は、45社(工芸品12社、食品33社)が出展し、自社商品の売込みを図るとともに鹿児島の魅力をPRしました。

【新規鹿児島ファンの拡大】

今回の催しは、百貨店のお歳暮ギフトセンターとの併催で開催し、特別企画では、昨年10月に開催された「全国和牛能力共進会 鹿児島大会」において日本一に輝いた「鹿児島黒牛」を使用した弁当・惣菜の紹介・販売やマスコットキャラクターにより畜産王国鹿児島のPRを行い、新たな鹿児島ファンになってもらうきっかけを創出しました。

【出展者・百貨店・首都圏流通関係者の反応・アドバイス等】

- ・国の旅行支援事業で鹿児島に旅行された方も多く、美味しかったからと再購入頂くことが多かった。
- ・物価高により購入単価が伸びない傾向にあった。
- ・鹿児島は定番品の顧客が強いが、新規顧客の獲得を図る為、新たな特産品の紹介が欲しい。



～鹿児島ブランドショップ鹿児島店・東京店 流通情報～

鹿児島ブランドショップでは、本県特産品である原木しいたけの消費者への普及や啓発、消費向上を促すため、しいたけの日(10/15)に合わせ「第27回かごしま原木しいたけフェア」(10/12～14)を開催しました。当日は、良質な乾・生しいたけや椎茸加工品等を販売し、多くのお客様にご来場いただき大盛況でした。

また今回、5年に一度開催される「全国和牛能力共進会」(10/6～10)において、和牛振興や県の魅力をPRする「和牛フェス」に出店し、かごしまの新特産品コンクール入賞商品等の販売を行いました。鹿児島黒牛も見事「和牛日本一」に輝き、今後の畜産振興の弾みとなる大会となりました。

首都圏では、新型コロナウイルス新規感染者数の増減が話題となっているものの、人出はコロナ禍前の状況に徐々に戻りつつあります。特に最近では、これまで外出を控えていたシニア層の姿や鹿児島ブランドショップ東京店のある日比谷・銀座界限でもインバウンド客が増えてきております。

そのような中、かごしま遊楽館では、「かごしま遊楽館公式インスタフォロー2,000人達成キャンペーン」を開催し、公式インスタフォロー画面を提示頂いた方先着100名様への粗品プレゼント、3F工芸品ギャラリーにおいては「JAL×かごしま遊楽館×霧島・指宿キャンペーン」「柳信一郎 白薩摩作陶展」「奄美の真珠展」等、様々なイベントを開催し、集客促進に繋がりました。

また、都内では今秋も焼芋やさつま芋スイーツが流行しており、新大久保では11月に焼芋&さつま芋スイーツ等が集結したイベントが開催され、入場規制を行うほどの盛況でした。今や焼芋の注目度合いは、一過性のブームとは言えないほどの反響があり、都内流通関係者からは「さつま芋スイーツはECサイトでも非常に好評であるため、生産量日本一の鹿児島県から出てくる商品は楽しみだ」との意見もあり、今後も販路拡大の可能性を感じました。



かごしま原木しいたけフェア



和牛フェス



奄美の真珠展

フランス・パリのルーブル美術館で「和食文化をパリから世界へ」をコンセプトに開催された「北前船寄港地フォーラム」に併せ、2年に一度フランス・パリで開催される欧州最大規模の食品総合見本市「SIAL Paris(10/15～10/19)」に当県のイメージアップや県産品の認知度・稼ぐ力の向上を図るために出展しました。

会場にはフランスのほか、ドイツやイタリア、イギリスなど、フランス周辺諸国から多くのバイヤーが来場し、日本からも数多くの企業・バイヤーが参加しました。

本県からは6社(茶、焼酎、醸造品、水産物、加工品)が出展し、それぞれ取引のある現地代理店や小売店、商社等と連携して、新規販路の開拓や需要拡大、味覚調査等を目的に流通関係者や飲食店等と直接商談を行いました。



出展者からは「期待以上の成果があった」「円安の今が海外輸出のチャンス」「フランスに限らず欧州やアメリカなどで見本市がある際は情報が欲しい」などの声があり、今回の見本市の手応えを感じました。今後も国内外に本県特産品を紹介する場を提案するなど、皆様の販路・需要拡大等を支援して参ります。

【出展者からの主な意見・感想】

- ・新規顧客との商談を期待して参加。期待どおりの商談ができた。商談継続して成果につなげたい。
- ・欧州は日本食料理店が多く日本食ブーム。バイヤーからは商品規格等の具体的な要望もあった。今後の輸出増が期待できると実感した。

「うんまか鹿児島輸出商談会2022」等海外輸出オンライン商談会開催 微風超市(台湾)にて「鹿児島フェア」実施

豊富で良質な本県産品を海外への販路開拓と認知度向上を図る為、国内外23社のバイヤーと県内企業43社が商談する「うんまか鹿児島輸出商談会2022」(10月24日(月)～28日(金)、主催：鹿児島県、鹿児島県特産品協会、鹿児島県貿易協会等)及び国内外27社のバイヤーと県内企業17社が商談する「鹿児島県産品×沖縄国際物流ハブ」海外輸出オンライン商談会を11月10日(木)に開催しました。

今回、商談を行った企業には、初参加の企業から長年海外と取引している企業まで様々で、縮小している国内市場だけではなく、海外に目を向けて取り組む意欲が以前にも増して感じられました。バイヤーからの生のアドバイスを受け、改善点の再認識や輸出への可能性に手応え感じた企業も多く、今後の成果には期待が持てます。



【バイヤーの声・意見】

- ・現地店舗のコンセプトに合った商品で非常に興味がある。
- ・中華系を意識した赤・金をメインにデザインしたパッケージで非常によい。

【参加企業の声】

- ・これまで業務用がメインであったが、コロナ禍で小売向け商品を始めたところであり、このような商談会に参加できてありがたい。(次回鹿児島フェアでの採用決定)

また、12月には本県農林水産物および加工品等のイメージアップ及び消費拡大を促進するため、微風超市3店舗(台湾)において「鹿児島フェア」を開催し、さつまいもの青果や焼芋をはじめ、大学芋や芋菓子などの宣伝・販売会を行いました。(県内生産団体等6社24品目)

微風超市では、長年、さつまいもの旬の時期にフェアを開催する人気の催しとなっており、見た目やサイズなど自分好みのさつまいもを楽しそうに選んで購入されるお客様の姿が多く見られました。

また、大学芋や芋餡鯛焼き、きびなごフライなどの実演調理による、出来立ての提供は大変好評だったほか、芋菓子や金柑・甘夏の加工品、芋焼酎なども販売しました。

今後も台湾への本県農林水産物等の更なる需要拡大と認知度向上にむけ、生産者や産地団体、関係機関等と連携し継続的に取り組んで参ります。

マルヤガーデンズにて「かごしまの暮らしを彩る器展」開催！

薩摩焼や薩摩切子を製造する9社が、伝統的工芸品の魅力を県内消費者等へPRし、更なる新商品開発や販売促進に繋げるため、標記展示販売会(令和4年10月21日(金)～10月23日(日))をマルヤガーデンズにて開催しました。

専門家の個別訪問指導による新商品開発に取り組んだ成果として、多様なライフスタイルにあわせた32のテーブルコーディネート披露と、日々の暮らしに彩りを添える逸品の展示販売を行いました。(その内5社は、東京ドームで開催される「テーブルウェア・フェスティバル2023」(令和5年1月27日(金)～2月5日(日))に出展)

使用シーンを提案するテーブルコーディネートが主体の展示販売会は、県内でも事例がなく、指導いただいている専門家からも「地元でこのような展示会の開催は全国でも珍しい。他産地も今回の事例を参考にしてほしい」と評価いただきました。

コロナ禍での2回目の開催となりましたが、一度に複数のテーブルセッティングとお買い物を楽しめることから、消費者と職人との交流が生まれ、新たな顧客の発掘や自社商品のPRに繋がるものとなりました。

今回の反省点等を踏まえ、今後も同展が鹿児島に定着していくよう支援していきたいと考えております。

【出展者の声・意見】

- ・購入後のイメージがしやすかったようだ。
- ・コーディネートは奥が深く、毎回勉強になる。



当日の会場内様子

「2022かごしまの新特産品コンクール」入賞商品決定！

多様化する消費者ニーズに対応した売れる商品づくりを促進するため、「2022かごしまの新特産品コンクール」(主催：かごしまの新特産品コンクール実行委員会(構成員：鹿児島県・鹿児島市・当協会))を令和4年10月31日(月)に開催いたしました。食品部門83品目、工芸・生活用品部門35品目の合計118品目が出品され、会場では、新型コロナウイルス感染拡大防のため、マスクの着用やアルコール消毒、密を避ける対策などを講じながら開催しました。

今回は、SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みへの配慮やアフターコロナを見据えたアイディアの商品など、魅力的な新商品が数多く出品されました。

なお、入賞商品の中には、メディアでの紹介が決定した商品もあり、受賞者からは、「スタッフのモチベーション向上に繋がった」「賞の名に恥じぬよう、販売・PRを頑張っていきたい」との意気込みをいただきました。

今後も、皆様の商品の販路拡大、モノづくりを支援して参りますので、ご出品をお待ちしております。

【出品者・入賞者の声】

- ・入賞したことで想像以上の反響があり、商品開発の難しさと面白さを実感している。
- ・多くのバイヤーと交流を持ち、商品開発へのアドバイスをいただいたので出品してよかった。
- ・数件のバイヤーから、今後の商談の話をいただいた。

【審査員・バイヤーの評価】

- ・鹿児島県産品の幅の広さに魅力・可能性を感じた。
- ・日本らしさや品質の高さをアピールできる海外向けの商品開発をしてもらいたい。
- ・価格設定にギャップを感じる商品もあり、どういうものが求められているか市場調査して新商品開発してほしい。



2022かごしまの新特産品コンクール入賞商品

FLOW A LAND(株) <「熟成の刺身」シリーズ> (食品部門 鹿児島県知事賞)

数年前、地元の特産品“かんぱち”の一番おいしい食べ方を求めて鹿屋のかんぱち漁師を訪ね、漁師仲間に伝わる熟成法と出逢い、鹿児島大学との共同研究を重ねたことで旨味成分を数倍に高めた独自の熟成魚が完成。やがて関東～関西の数々の料理店でコース料理として扱っていただけるまでに成長しました。独自技術による鹿児島の熟成魚の美味しさを一般家庭でも手軽に味わえます。



厩-KOYOMI- <発酵 MOON> (食品部門 鹿児島市長賞)

奄美に古くから伝わる発酵飲料「ミキ」を多くの方に知ってもらいたいという想いから商品開発がスタートしました。ミキは米にさつまいもを加え発酵させた乳酸菌豊富な飲料です。近年、腸内環境への影響などが研究され、注目されています。奄美出身者としてミキを発信することで奄美を知ってもらえ、魅力を伝えるきっかけになっています。食材にもこだわっており、フルーツやきび砂糖は鹿児島県産・奄美産のものを使用して飲みやすく、美味しく仕上げました。



尙岩切美巧堂 <薩摩錫桜島タンブラー「彩光」> (工芸・生活用品部門 鹿児島県知事賞)

鹿児島県工業技術センターの世界初の桜島溶岩コーティング特許技術を取り入れて実現した新しい薩摩錫器で、海外に向けてアピールできる製品です。日本でも数少ない活火山を都市部に持つ鹿児島県ならではの商品であり、「桜島・錦江湾ジオパーク」を象徴する製品でないかと考えています。目に見えないほどの桜島溶岩の粒子で錫器をコーティングすることにより、見る角度や光の加減により虹色のような色合いを醸し出し、様々な色の変化を楽しむことができます。



藤絹織物(株) <大島紬スマホショルダー～Yoridori～> (工芸・生活用品部門 鹿児島市長賞)

大島紬の反物を作る際の余剰糸を有効活用し、SDGsの観点からトレンドを意識した新しいものに生まれ変われないかと考えました。大島紬の糸を撚って作ったスマホショルダーストラップをベースに同じく大島紬の残布を使用したスマホケースや小銭入れ、ポーチ、ポシェットなどを自由に組み合わせて装着し、自分だけの手ぶらスタイルを楽しむことで、もっと身近に気軽に、大島紬を身に着けていただけるきっかけになればと思い商品化しました。



鹿児島大学「地域リサーチ・スタートアップ」による出前講義を実施!

国指定伝統的工芸品である本場大島紬の歴史・製作工程など紹介することにより、若い世代に本県工芸品への理解と認識を深め、地域の発展に寄与する人材を育成するため、鹿児島大学の1年生(受講者約70名)を対象に「地域リサーチ・スタートアップ」を開講し、本場大島紬織物協同組合の大瀬理事長による出前講義を実施しました。

今回、大島紬を初めて目にする県外出身の学生なども多かったことから、大島紬の概要・歴史を説明し、理事長として、これからあるべき大島紬業界の姿について想いを込めた講義をしていただきました。

学生には、大島紬の反物に実際に触れてもらい「鹿児島にいる間に一度は大島紬を身に着けてみたいと思った」(県外出身の学生)、「業界は斜陽産業ということだが、世界に誇れる大島紬は残って欲しい」「まずはレンタル等で大島紬を知ってもらうことが先決だと感じた」など感想があり、中には、講義内容に胸が熱くなり、受講後に大瀬理事長の店舗にまで足を運び、改めて大島紬についての話を聞きに来た学生もあり、関心の高さが窺えました。

今後も後継者問題や地域が抱える課題に取り組むため、若い世代に現場の生の声を届ける機会を設けていきたいと考えております。



大島紬の説明を行う
大瀬理事長

特産振興支援員奮闘記

新たな販売チャンネルとして期待！

かごしまのいろいろ「じはんき」

特産振興支援員 食品担当 海老原 涼子



鹿児島県内でも“変わり種”の自動販売機が続々登場している。パスタや中華麺の生麺販売、卵、餃子、郷土料理、唐揚げ、さつまあげ、鶏刺し、車えび、ついにはステーキ(鹿児島黒牛・黒豚)まで登場した。珍しいものでは、コオロギ、バッタ…昆虫が手軽に食べられる自販機もある。省力化や人件費削減のため導入する企業・店舗が増加しており、新型コロナウイルス感染症下で、営業時間の短縮要請が出たのを機に対面接触がない新たな販売ツールとして注目されている。

鹿児島県かごしまの食ブランド推進室も、県内各地の6次産業化商品を並べた自動販売機を鹿児島中央駅AMU広場と鹿児島空港ロビーに設置した。新型コロナウイルス感染症の影響で販売機会が減少した6次産業事業者(農林水産業者が自ら生産・加工した商品)の支援目的で、約40種類の商品を購入できる。例えば、鹿屋カンパチのアヒージョ、沖永良部キクラゲの佃煮など空港や駅の売店では手に入らないものが中心である。

購入者アンケートによると、購入目的の約2割がお土産やギフト用、約6割が自分へのご褒美となっている。その理由としては、「魅力的・珍しい」「地元感がある」「価格・サイズ感がよい」「すぐ食べられそう」などがあげられる。価格的には、500円前後～千円が人気のようだ。中央駅や空港など観光客が多い場所であることと、購入者の半数以上が女性であるということが、じはんき商品選定の大きなポイントと思われる。

「じはんき」は、初期投資はかかるが、省力化や人件費削減のメリットは大きい。直売店代わりに自販機を導入する例も続いている。過剰な包装が不要で少量から販売できるため、小規模事業者でも参加しやすい。商品力はもちろん、売り方の工夫も必要で、時代のニーズに合った販売方法である。鹿児島の特産品を試し買いたい味わってほしい。そして次は、その地を訪れて、その商品としての「地元力」、生産者のこだわり・物語を共に味わう、体感するきっかけになってほしい。

協会インフォメーション

1. 「ふるさと祭り東京2023ー日本のまつり・故郷の味ー」

各地の自慢の特産品や名物料理、また、お祭りひろばでの郷土芸能 など全国各地の食文化や伝統文化を紹介する標記イベントに出展いたします。

本県特産品を首都圏の消費者に強くアピールし、新規顧客の獲得や販路開拓が見込めるイベントとなりますので、当協会としても本県の魅力を幅広くPRして参ります。

【会期】令和5年1月13日(金)～1月22日(日)10日間

【会場】東京ドーム

2. テーブルウェア・フェスティバル2023～暮らしを彩る器展～出展します！

東京で開催される「テーブルウェア・フェスティバル2023」にて、本県の薩摩焼・薩摩切子製造企業6社が、PR・販売を行い、首都圏にて鹿児島県の伝統的工芸品の魅力を幅広く紹介します。

会期中は、オンライン開催(1月27日～2月28日まで閲覧可)も行いますので、皆様是非、ご覧ください。

【会期】令和5年1月27日(金)～2月5日(日)10日間

【会場】東京ドーム

3. 東武百貨店池袋店「大鹿児島展」開催告知

昨年10月に開催された「全国和牛能力共進会 鹿児島大会」において見事に日本一に輝いた「鹿児島黒牛」を使用した弁当・惣菜、本県を代表する菓子・スイーツ、農水産物加工品、伝統的な技術や技法を活かした工芸品など鹿児島島の魅力ある特産品と観光情報を幅広く宣伝・PRいたします。

【会期】令和5年2月16日(木)～2月21日(火)6日間

【会場】(株)東武百貨店池袋店 8階催事場、地階コンコース等